

令和7年5月21日

保護者様

愛媛県教育委員会

児童生徒の人間関係構築力の育成に向けた 「ジブンミカタプログラム」の実施について（お知らせ）

愛媛県教育委員会では、「愛媛県いじめの防止等のための基本的な方針」に基づき、いじめの未然防止や早期発見、速やかな解決のための対策に取り組むとともに、子どもたちによるいじめ防止に向けた学校づくりを、社会総ぐるみで推進しています。

子どもたちが安心して学校生活を送るためには、居心地のよい、互いを認め合う集団づくりを児童生徒が主体的に行うことが大切であり、その実現には、人とよりよい関係を築く「人間関係構築力」の育成が重要と考えています。しかし、令和5年度の本県調査「児童生徒の心と体の健康と人とのつながりに関するアンケート」（小5～中2対象）によって、約4割の子どもたちが人間関係を築くことに不安を感じていることが分かりました。

そこで、人間環境大学総合心理学部と連携・協力し、1人1台端末を活用して子どもたちの「人間関係構築力」の育成を目指すプログラムを開発し、令和7年度から県内全ての公立小中学校において、小学5年生から中学3年生を対象に実施することといたしました。この「ジブンミカタプログラム」という名称には、「自分が誰かの味方(ミカタ)になる」、「自分の味方(ミカタ)を増やす」、「自分が自分の味方(ミカタ)になる」「自分や人の見方(ミカタ)を振り返る」など、様々な意味が込められています。

子どもたちは毎月1回、1人1台端末でセルフチェックを行い、プログラムからのアドバイス等を参考にしながら、自分にできるアクションを日々の生活で実践することを通じて、人とよりよく関わっていくためのスキルを自ら育んでいきます。保護者の皆様には、こうした取組みの趣旨について御理解の上、人とのよりよい関係づくり等について御家庭で話題にさせていただくなど、子どもたちの成長を温かく見守っていただきますよう、何卒よろしく願いいたします。